

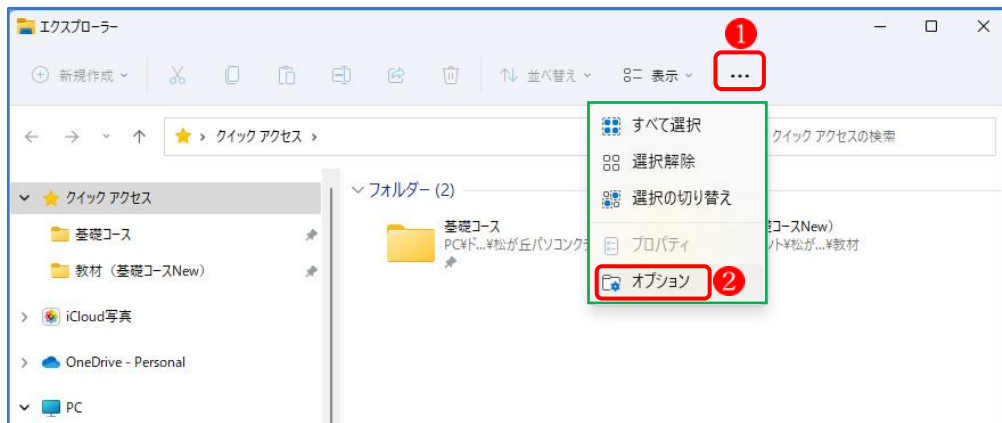
## エクスプローラーのフォルダーオプション

[エクスプローラー]は、パソコン内のファイルやフォルダーを操作することができる重要なアプリで、ほとんどのパソコンで最初からタスクバーにアイコン①がピン留めされています。このアイコンをクリックするとエクスプローラーが開きます。



ここでは、エクスプローラーの[フォルダーオプション]の設定を使って、自分の使いやすいようにエクスプローラーのカスタマイズする方法を説明します。

エクスプローラーのメニューバーの[...](もっと見る)①をクリックして、表示されたメニューから[オプション]②をクリックします。→[全般]タブが開きます。

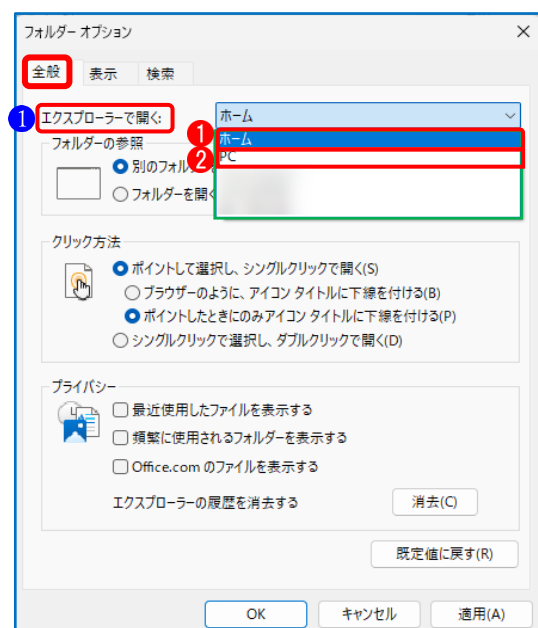


### 1 [全般]タブの設定内容

[エクスプローラーで開く]①

[エクスプローラーで開く]では、[ホーム]①と[PC]②の2つの選択肢があるので、どちらかを選択します。

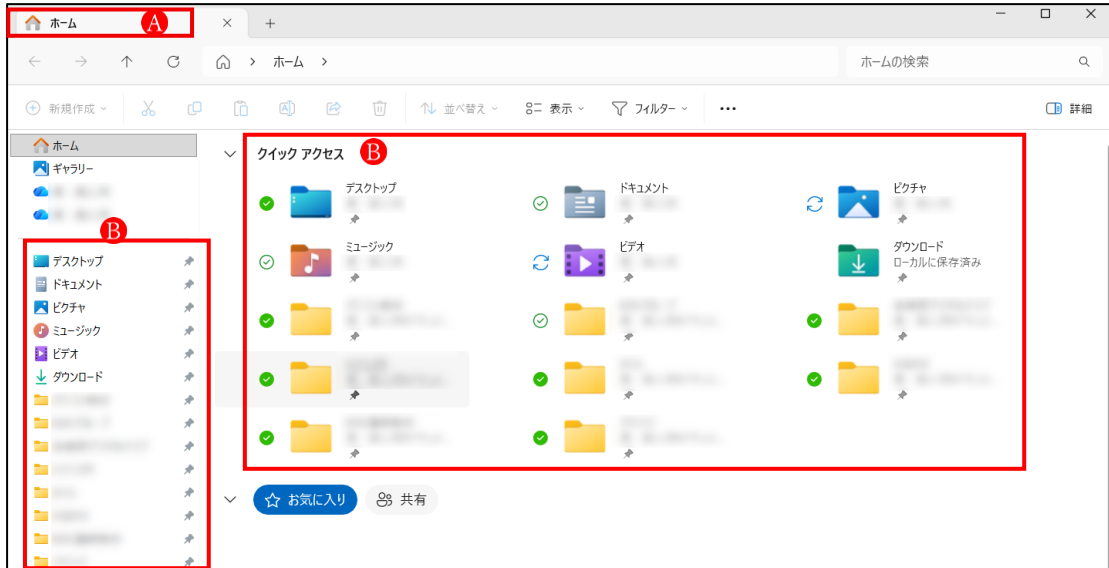
表示される内容は次のとおりです。



① [ホーム] **A** を選択した場合

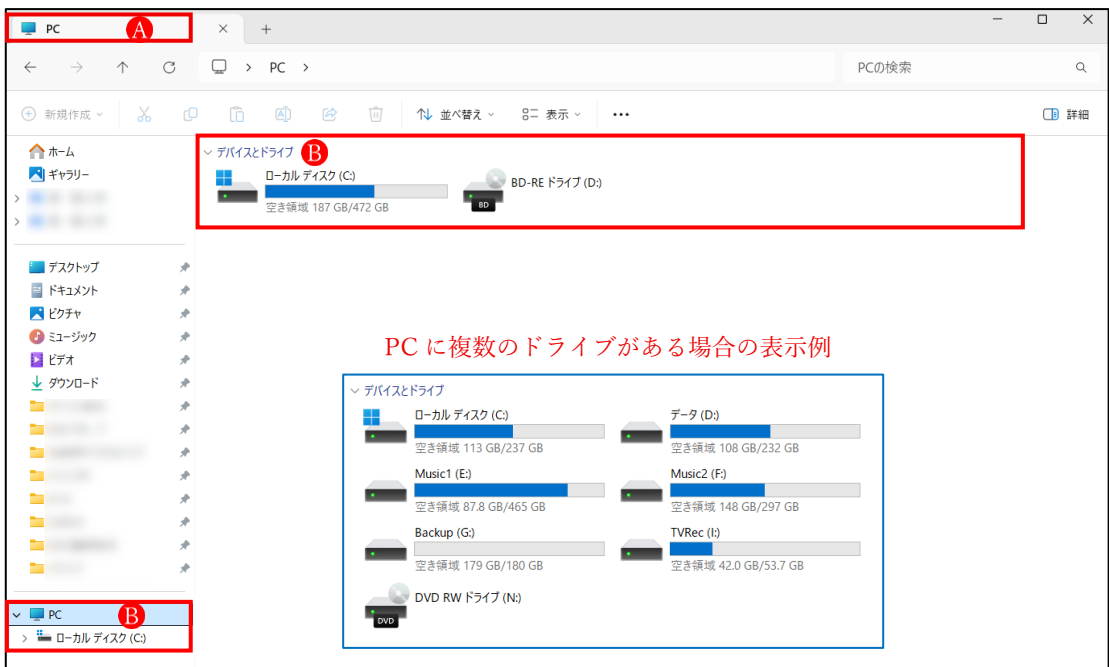
上の図で[ホーム]を選択すると、次回から、エクスプローラーを起動すると最初に[ホーム] **A** の[クイックアクセス] **B** の内容が表示されるようになります。

通常は、こちらの設定を選択します。



② [PC] を選択した場合

上の図で[PC]を選択すると、次回から、エクスプローラーを起動すると最初に[PC] **A** の[デバイスとドライブ] **B** の内容が表示されるようになります。



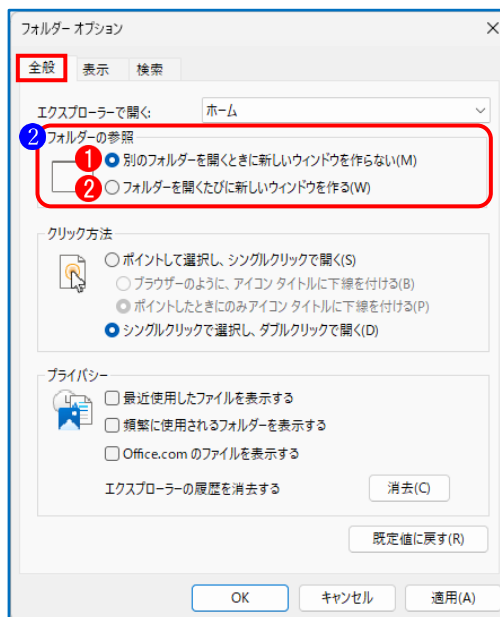
パソコンに、C ドライブのほかに D ドライブなど複数のドライブを備えている場合には、こちらの[PC]に設定しておくことで、エクスプローラーを開くと同時に各ドライブの空き領域が一目で分かるというメリットがあります。

## (2) [フォルダーの参照]②の設定

① [別のフォルダーを開くときに新しいウィンドウをつくらない]①を選択すると、今開いているフォルダーウィンドウが新しいフォルダーのウィンドウに置き換わります。

② [フォルダーを開くたびに新しいウィンドウを作る]②を選択すると、今開いているフォルダーのウィンドウはそのままに、さらに新しいフォルダーのウィンドウが開きます。

☆ [フォルダーを開くたびに新しいウィンドウを作る]に設定すると、新しいフォルダーを開くたびにフォルダーウィンドウが増えて、デスクトップが混雑するので、通常は[別のフォルダーを開くときに新しいウィンドウを作らない]に設定します。



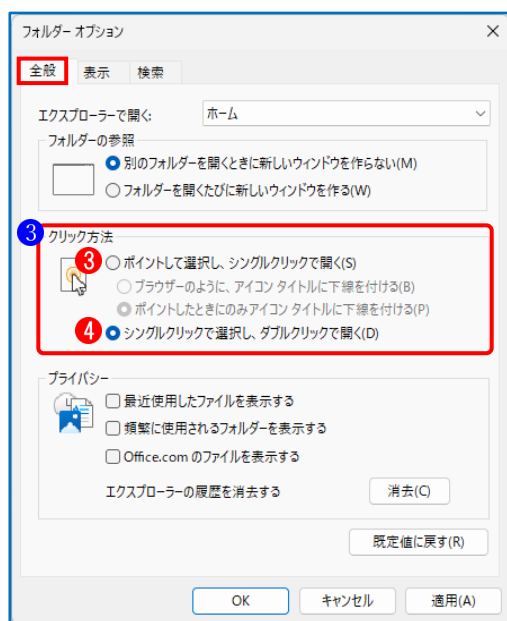
## (3) [クリック方法]③の設定

① [ポイントして選択し、シングルクリックで開く]③は、フォルダーやファイルを開くときに、シングルクリックを使う方法です。この方法は、ワンクリックでフォルダーやファイルを開けてとても便利なのですが、操作に慣れないと選択方法で戸惑うことがあります。

なお、こちらの設定を選択すると、さらに[ブラウザのように、アイコンタイトルに下線を付ける]か[ポイントしたときのみアイコンタイトルに下線を付ける]のどちらかを選択することができます。

② [シングルクリックで選択し、ダブルクリックで開く]④は、フォルダーやファイルを選択するときはシングルクリックを使い、開くときにはダブルクリックを使う方法です。

☆ 初心者のうちはこちらの設定の方が操作の間違いが少なくお勧めです。



#### (4) [プライバシー] ④ の設定

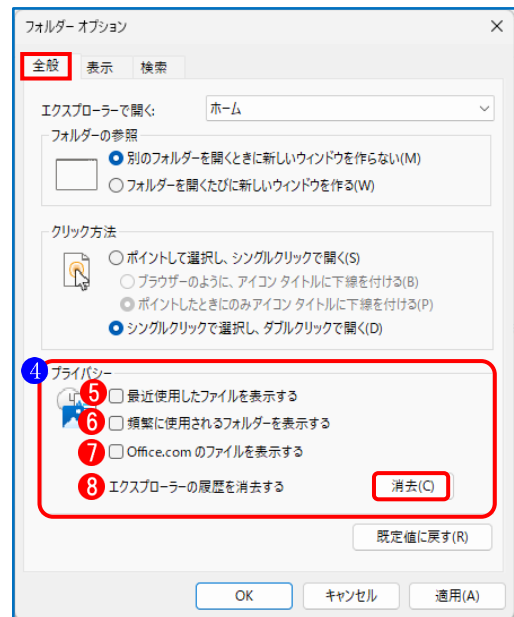
- ① [最近使用したファイルを表示する] ⑤ は、最近使用したファイルをクイックアクセスに自動的に表示したいときに選択します。
- ② [頻繁に使用されるフォルダーを表示する] ⑥ は、頻繁に使われるフォルダーをクイックアクセスに自動的に表示したいときに選択します。
- ③ [Office.com のファイルを表示する] ⑦ は、エクスプローラーに、クラウド上の Office ファイルを含めて表示するかどうかを決めるもので、OneDrive にある Word・Excel・PowerPoint の最近使ったファイルを、ローカルのファイルと同じようにクイックアクセスに表示する機能です。
- ④ [エクスプローラーの履歴を消去する] ⑧ は、右側にある[消去]ボタンを押すと、次の履歴がすべて消えます。

- ・最近使ったファイルの履歴
- ・よく使うフォルダーのデータ
- ・アドレスバーの入力履歴
- ・検索ボックスの入力履歴

つまり、「クイックアクセスの記憶を全部リセット」する機能です。

- ☆ これらを有効にすると、エクスプローラーのクイックアクセスに表示されるものがどんどん増えて見づらくなるので、お勧めしません。

クイックアクセスへの登録は、必要に応じて手動で行うのがよいでしょう。



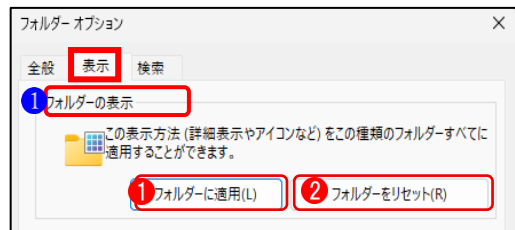
## 2 [表示]タブの設定内容

フォルダーオプションの[詳細設定]では、設定内容をクリックしてチェックボックスにチェックマークを付けると「有効」になり、外すと「無効」になるという簡単な設定方法です。最後に[OK]または[適用]をクリックすると設定を反映できます。

### (1) フォルダーの表示 ①

#### ① [フォルダーに適用] ①

現在開いているフォルダー内のファイルに設定した表示項目を同じ種類の別のフォルダーでも同様に表示させる機能です。



- 例えば、ある音楽フォルダーに含まれている音楽ファイルに表示させる項目を、次のように独自に設定<sup>A</sup>したとします。(※表示項目の設定方法は省略)



そして、この表示項目をほかの音楽フォルダーのファイルを開いた時にも同じように表示したいといった場合に使います。

手順は、次のとおりです。

- ア この設定を適用させたいフォルダーには、あらかじめ、そのフォルダーの種類を同じ種類（ここでは[ミュージック]）に設定しておく必要があります。

フォルダーの種類の設定方法は、次のとおりです。

- ① [Music]フォルダーの上で右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択する。
- ② [ミュージックのプロパティ]で[カスタマイズ]タブを選択する。
- ③ [フォルダーの種類]を[ミュージック]に変更し、同時に[このテンプレートをすべてのサブフォルダーに適用する]にチェックを入れる。→[OK]ボタンをクリックする。

- イ 音楽ファイルの入っているフォルダーを開き、任意のファイルを開きます。

- ① 上図のとおり、音楽ファイルに表示させる項目を独自に設定します。
- ② フォルダーオプション→[表示]タブ→[フォルダーに適用]①→[この種類のフォルダーすべてについて現在のフォルダーの表示設定を適用しますか?]&表示されたら→[はい]をクリックする。

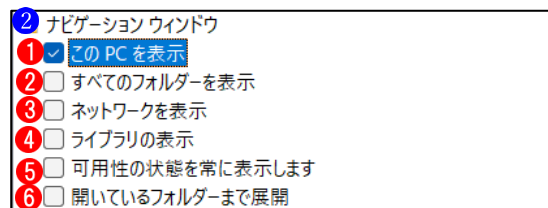
これで、[Music]フォルダー（すべてのサブフォルダーを含む）内のどの音楽ファイルを開いても、同じ項目が表示されるようになります。

② [フォルダーをリセット] ②

現在開いているフォルダーの表示設定だけがリセットされ、初期状態（Windows がそのフォルダーに対して自動判断した初期状態）に戻ります。

(2) ナビゲーションウィンドウ ②

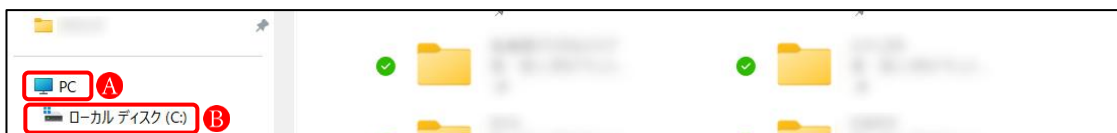
ナビゲーションウィンドウとは、エクスプローラーの左側に、縦方向に表示されている項目です。



① [この PC を表示] ① をオンにします。

ここにチェックを入れると、ディスクドライブや USB メモリなどを表示する [PC] ① のローカルディスク (C:) ② が表示され、ここからローカルディスク、USB メモリ、光学ドライブなどにアクセスできます。

オフにすると、ナビゲーションウィンドウは表示されなくなり、代わりに、クイックアクセスや他の項目から辿る必要があります。

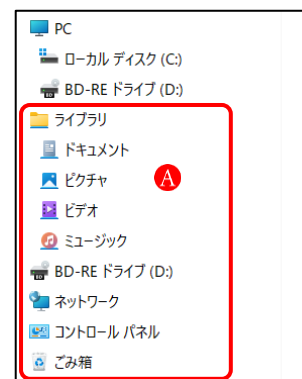


② [すべてのフォルダーを表示] ②

ナビゲーションウィンドウに、より多くのシステムフォルダー ① が表示されます。

例：ユーザーフォルダー、コントロールパネル、ゴミ箱  
ライブラリなどもツリーに現れるようになります。

あまり必要ないので、通常はオフにしておきます。



③ [ネットワークを表示] ③

ナビゲーションウィンドウに「ネットワーク」が表示されます。

ネットワーク共有をほとんど使わない場合、表示をスッキリさせるためにオフにしておきます。

④ [ライブラリの表示] ④

ドキュメント、ピクチャ、ミュージック、ビデオなどのライブラリが左ペインに表示されます。ライブラリ機能を使わない場合はオフで問題ありません。

⑤ [可用性の状態を常に表示します] ⑤

OneDrive などクラウドと同期しているファイル・フォルダーに、状態アイコンが常に表示されます。クラウドを使っていない場合は必要ないので、オフにしておきます。

⑥ [開いているフォルダーまで展開] ⑥

右側でフォルダーを開いていくと、それに合わせて左側のツリーも自動的に展開されます。「今どの階層にいるか」をツリーで把握したい人にはとても便利ですが、通常はオフにしておきます。

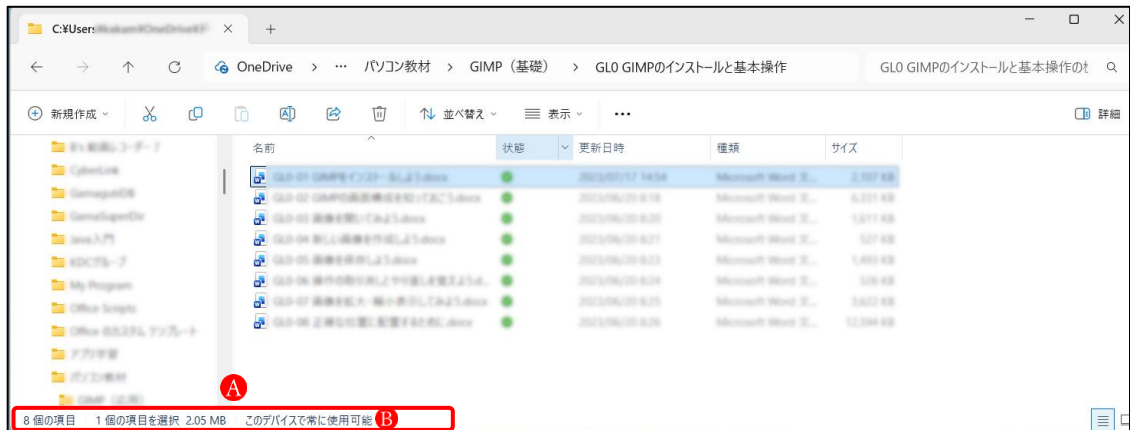
### (3) ファイルおよびフォルダー ③(1)

#### ① [ステータスバーを表示する] ①

エクスプローラー下部にステータスバー **A** を設置し、選択したフォルダー内のファイルの個数、選択したファイルの容量など **B** を表示します。オンにしておきましょう。

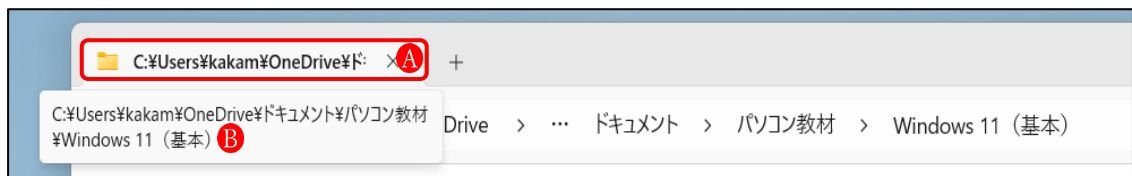
③ ファイルおよびフォルダー

- ①  ステータスバーを表示する
- ②  タイトルバーに完全なパスを表示する
- ③  チェックボックスを使用して項目を選択する
- ④  ドライブ文字を表示する
- ⑤  ファイルとフォルダーの表示
  - 隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する
  - 隠しファイル、隠しフォルダー、または隠しドライブを表示しない

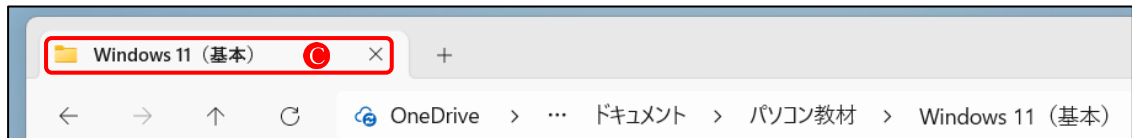


#### ② [タイトルバーに完全なパスを表示する] ②

エクスプローラー上部のタイトルに完全なパス (場所) **A** が表示されます。タイトルにマウスポインターを合わせると、下部に完全なパス **B** がポップアップされます。



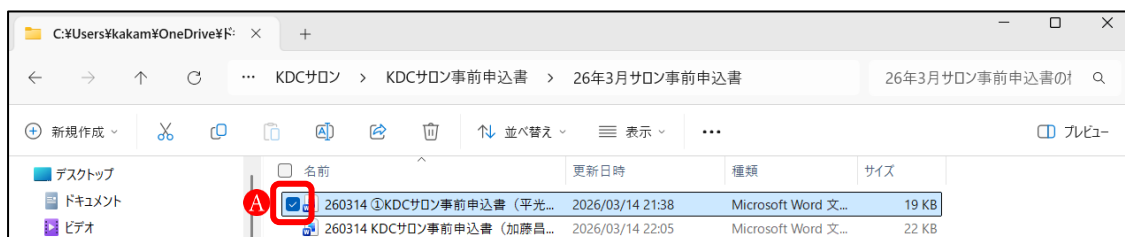
オフの場合は、選択しているフォルダー名のみ **C** が表示されます。



邪魔にはならないので、オンにしておきましょう。

#### ③ [チェックボックスを使用して項目を選択する] ③

ファイルやフォルダーにマウスポインターを近づけると、先頭部分にチェックボックス **A** が表示されます。選択する場合はチェックボックスにチェックを入れ、解除する場合はチェックを外します。

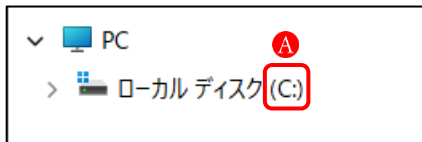


好みによりますが、通常はオフにしておきます。

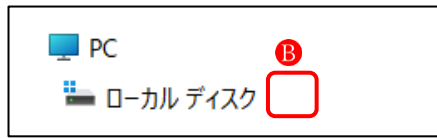
④ [ドライブ文字を表示する] ④

[PC]に表示されるディスクドライブや外付けドライブ、USB メモリに、「:C」や「:D」などのドライブ文字が表示されます<sup>A</sup>。オフの場合は表示されません<sup>B</sup>。

○オンにした場合



○オフの場合

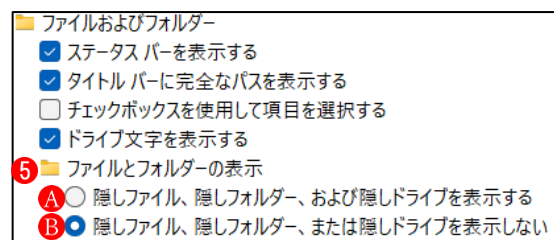


パソコンには、C:ドライブしか設置されていないものと、C:ドライブのほかに D:ドライブを有しているものがあります。複数のドライブを有している場合は、ドライブ文字が表示されないと両者の判別が難しくなるので、いずれの場合でも[ドライブ文字を表示する]をオンしておくのがよいでしょう。

⑤ ファイルとフォルダーの表示 ⑤

[隠しファイル、隠しフォルダー、または隠しドライブを表示する] <sup>A</sup>をオンにすると、通常では表示されないファイルやフォルダーも表示されるようになります。

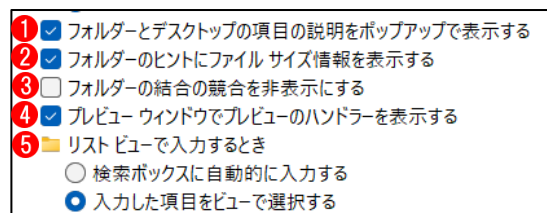
隠しファイルやフォルダーは、主にシステムが使うものであって、一般ユーザーは触らない方が無難なので、通常は[隠しファイル、隠しフォルダー、または隠しドライブを表示しない] <sup>B</sup>を選択します。(☆実際の表示例は省略します。)



(4) ファイルおよびフォルダー(2)

① [フォルダーとデスクトップの項目の説明をポップアップで表示する] ①

フォルダーやファイルなどにマウスポインターを合わせると<sup>A</sup>、そのファイルやフォルダーの説明が表示されます<sup>B</sup>。



② [フォルダーのヒントにファイルサイズ情報を表示する] ②

上記のポップアップ説明に、ファイルサイズ<sup>C</sup>も表示されます。

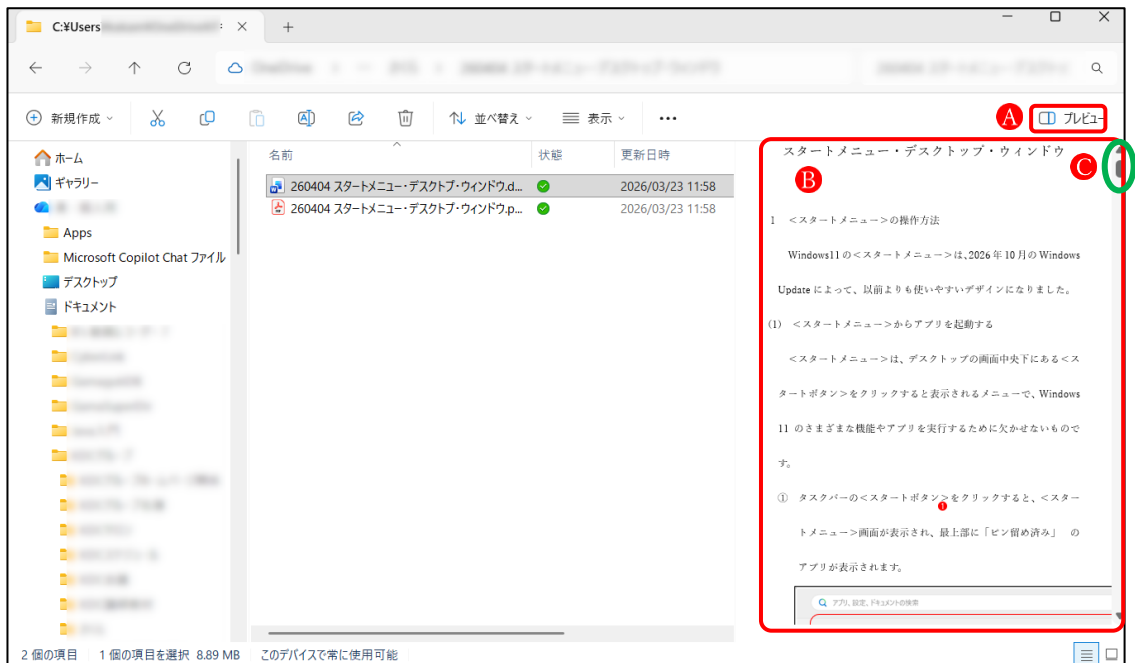
③ [フォルダーの結合の競合を非表示にする] ③

同じ名前のフォルダーとして上書き保存されそうになったときに、確認のダイアログを表示します。必ずオフにしておきましょう。

④ [プレビューウィンドウでプレビューのハンドラーを示す] ④

[プレビューウィンドウ]の表示 **A** をオンにしておけば、ファイルを開かなくても中身をプレビュー **B** することができる機能です。

プレビュー（サムネイルとは違う）なので、スクロールバー **C** をスライドすれば、ファイル内のすべてのページを見ることができます。（※PDF の内容もプレビューで見ることができます。）



⑤ リストビューで入力するとき ⑤

エクスプローラー内でファイルを検索するとき、キー入力すると、検索ボックスに自動的に文字が入って検索が始まる **A** ようにするか、ファイルの一覧内でその文字から始まるファイルにジャンプする **B** かを選択する機能です。通常は、[入力した項目をビューで選択する] **B** に設定しておきます。

- フォルダーとデスクトップの項目の説明をポップアップで表示する
- フォルダーのヒントにファイルサイズ情報を表示する
- フォルダーの結合の競合を非表示にする
- プレビュー ウィンドウでプレビューのハンドラーを表示する
- ⑤  リストビューで入力するとき
  - A**  検索ボックスに自動的に入力する
  - B**  入力した項目をビューで選択する

(5) ファイルおよびフォルダー(3)

① [ログオン時に以前のフォルダーウィンドウを表示する] ①

前回シャットダウン時に開いていたエクスプローラーを自動で復元する機能です。必要ないので、オフにしておきます。

- ①  ログオン時に以前のフォルダー ウィンドウを表示する
- ②  暗号化や圧縮された NTFS ファイルをカラーで表示する
- ③  共有ウィザードを使用する (推奨)
- ④  空のドライブは表示しない
- ⑤  項目間のスペースを減らす (コンパクトビュー)

② [暗号化や圧縮された NTFS ファイルをカラーで表示する] ②

NTFS の「圧縮」「暗号化」属性を色で区別する機能です。

通常は必要ないので、オフにしておきます。

③ [共有ウィザードを使用する (推奨)] ③

有効にすると「フォルダー共有」が簡易ウィザード形式になり、オフにすると詳細設定で行う形式になります。簡易ウィザード形式は、家庭内ネットワーク向けの簡単な共有設定ですが、PC 教室などでは「共有トラブル」が起きやすく、推奨しません (オフにします)。

④ [空のドライブは表示しない] ④

カードリーダーなど「メディアが入っていないドライブ」を非表示にする機能です。

有効 (チェックあり) にすると、SD カードスロット、DVD ドライブなどにメディアが入っていない場合は、エクスプローラーに表示されなくなります。今使っていないドライブは表示する必要がないので、オンにしておきましょう。

⑤ [項目間のスペースを減らす (コンパクトビュー)] ⑤

エクスプローラーの行間を狭くして、一覧性を高める機能です。


有効にすると、行間が狭くなり、1 画面に表示できるファイル数が増えます。ファイルが多くなると、コンパクトビューの方が作業しやすいので、オンにしておきましょう。

なお、エクスプローラーの[表示]タブ→[表示]→[コンパクトビュー]をオンにしても同様の結果になります。

(6) ファイルおよびフォルダー(4)

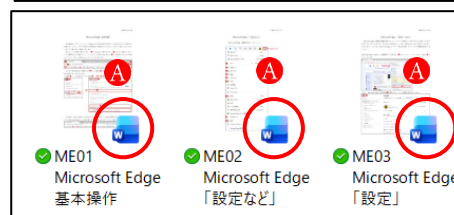
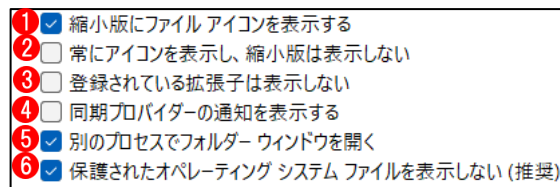
① [縮小版にファイルアイコンを表示する] ①

Word や PDF ファイルのサムネイルの右下に「ファイルの種類アイコン」を重ねて表示する設定です。


例えば、Word ファイルの場合は、右図のようにサムネイルの右下に Word のアプリアイコン  が重ねて表示されます。

なお、このアプリアイコンが付くのは、ファイルの表示形式がアイコン (特大アイコン、大アイコンなど) の場合です。

また、この設定がオンの場合、画像フォルダーには写真のサムネイルが表示されます。



② [常にアイコンを表示し、縮小版は表示しない] ②

ファイルのサムネイルは表示されず、アプリアイコンのみ  が表示されます。

必要ないので、オフにします。

なお、設定をオンにした場合は、画像フォルダーのサムネイルも表示されなくなります。



③ [登録されている拡張子は表示しない] ③

ファイル名の最後の[.]の後にある「画像なら jpg png など」のファイルを認識するための拡張子の表示設定です。特定のファイルの種類しか扱わない場合はオンにしてファイル拡張子を表示しない選択肢もありますが、同じ画像ファイルでも種類の違う複数のファイル形式を扱う場合などは、逆に[表示する]に設定しておいた方が判別しやすいので、ここはオフにしておきましょう。

④ [同期プロバイダーの通知を表示する] ④

OneDrive や Dropbox などの「クラウド連携の提案通知」を出すかどうかの設定です。有効にすると、エクスプローラー上に[OneDrive に保存すると安全です]や[クラウドにバックアップしませんか?]といった 宣伝・提案通知 が表示されます。ここはオフにして、これらの通知が一切出ないようにしましょう。

⑤ [別のプロセスでフォルダーウィンドウを開く] ⑤

エクスプローラーを「複数プロセス」で動かすかどうかを選択する設定です。この設定をオンにすると、開いたエクスプローラーごとに「独立したプロセス」が作られます。この場合は、1つのエクスプローラーのウィンドウが固まっても、他のエクスプローラーには影響が及ばず、無事に動き続けます。ところが、この設定がオフで、すべてのエクスプローラーが1つのプロセスで動く場合は、1つのウィンドウが固まるとすべてのウィンドウが固まるという結果が生じます。この設定をオンにすると、通常よりも多少メモリの消費が多くなりますが、オンに設定しておくのがベターです。

⑥ [保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない] ⑥

Windows の起動やシステムの根幹に関わる重要なファイルを表示しないようにしている設定です。修復操作などで必要なら無効化すれば表示されるようになりますが、通常はオンに設定しておきます。

### 3 [検索]タブの設定内容

① 検索方法 ①

[ファイルシステムのフォルダー検索時にインデックスを使用しない]は、インデックスを使わないと時間がかかるので、オフにしておきます。

② [インデックスが作成されていない場所の検索] ②

3つの項目とも、それほど検索する必要がなく、また、オンにすると検索に時間がかかるようになるので、いずれもオフに設定します。

